

自動フェーズシフター

モデル PSC-2III, PSC-n

特長

- 完全自動運転
- デジタル位相差表示
- リモート信号完備
- 13.56MHz

概説

本自動フェーズシフターは、オートモードで複数電源を同期運転するシステムの基準となるプラズマ用電極と、その他の電極のRF電源の位相差を自動的に一定の値にします。電極の電圧の一部を取り出すRFプローブは、通常整合器に取り付け、その出力は本機にフィードバックされます。

本機は、前パネルのポテンショメータまたはリモート信号により位相差を 0° ~ $\pm 180^\circ$ に設定できます。本機は、前パネルのデジタルメータで位相差を表示し、アナログ信号で出力します。

また、マニュアルモードでも使用でき、その場合は、RFプローブからのフィードバック信号は必要ありません。

PSC-2IIIは、二電源システムに、PSC-nは、n電源システムに使用します。



モデル PSC-2III

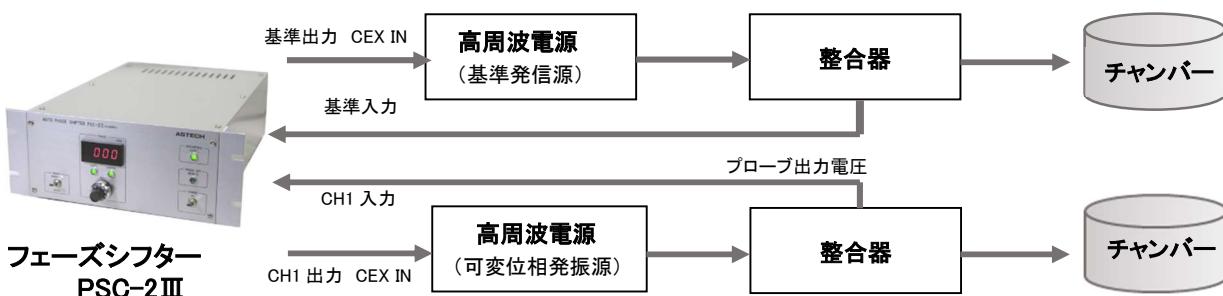
13.56MHz 2電源システム用

仕様

- 周波数：13.56MHz
- RF入力：入力レベル=0.3~3Vrms/50Ω
- RF出力：TTLレベル又はサイン波出力
 3 ± 0.5 Vrms
(ご発注時指定)
- 可変位相レンジ： 0° ~ $\pm 180^\circ$
- Mode切替：Auto/Manual切替スイッチ
(フロントパネル上)

- リモート信号：
位相差設定入力=
 $0 \sim 2.5 \sim 5V / +180^\circ \sim 0^\circ \sim -180^\circ$
位相差モニタ出力=
 $-1.8 \sim +1.8V / -180^\circ \sim +180^\circ$
- 外径寸法：PSC-2=215W×330D×99H
PSC-3・PSC-4=480W×330D×99H
- 必要電源：AC100V, 1A
(100V以外をご希望の場合は、
発注時にご相談ください)

PSC-2IIIを使用した二電源システムの構成例



■フェーズシフター モデル PSC-1a

特長・概要

本フェーズシフターは、2台の高周波電源の CEX IN と CEX OUT 間に接続することにより2台の高周波電源を同期運転し、子機への入力電圧の位相を変化させることができます。位相は、フロントパネルのポテンショメータにより、10ターンで0～360°変化します。位相表示器はついていません。

仕様

- 周波数: 13.56MHz, これ以外の周波数はご相談ください。
- RF入力: TTLレベルまたはサイン波 2Vp-p/50Ω
- RF出力: TTLレベルまたはサイン波 2～8Vp-p/50Ω (RF入力/出力信号の種類とレベルはご発注時指定)
- 可変位相レンジ: 0～360°
- 外寸法: 150W × 254D × 70H
- 必要電源: AC100V, 1A (100V以外をご希望の場合は、発注時にご相談ください。)



モデル PSC-1a

■位相角表示器 モデル PD-1A

特長・概要

本機は、二電源システムで、チャンバーの電極に印可されているRF電圧の位相差をデジタル表示します。

通常、整合器内にRF電圧プローブを取り付け、出力電圧の一部を取り出し本機に入力します。

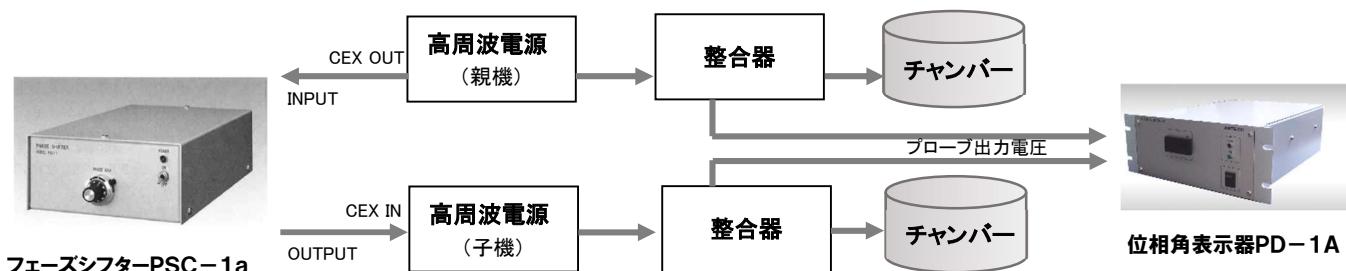
仕様

- 周波数: 13.56MHz, これ以外の周波数はご相談ください。
- RF入力: 2.6～24Vp-p/50Ω
- 位相角表示: 0～±180°
- 外部出力
位相角出力電圧 -1.8～+1.8V/-180～+180°
- 外寸法: 215W × 300D × 99H
- 必要電源: AC100V, 1A (100V以外をご希望の場合は、発注時にご相談ください。)



モデル PD-1A

PSC-1a, PD-1Aを使用した二電源システムの構成例



■このカタログの記載事項は予告なく変更されることがあります。

振電工業株式会社

<http://www.shin-den.co.jp>

〒202-0022 東京都西東京市柳沢2丁目10-23
TEL: 042-466-0571 FAX: 042-462-0244

E-Mail: shinden@luck.ocn.co.jp